

今こそ知恵を出し合おう



高齢化社会の中の消費者協会 会長 和田 澄恵

2022年が始まりました。新型コロナウイルスに明け暮れた昨年は、衆議院選挙の年でもありました。この選挙では、選挙区での当落と、比例区での当落があって、民意が正確に反映しないとの批判もあります。かつて中選挙区制度が問題になった時もありました。

人間社会にあるものはすべて完全完璧、100%ではありえないと思っています。その中で少しでもより良い選択をしながら前へ進んでいくために必要なのが、人の知恵ではないでしょうか。

「年の功」もその一つ。知恵は知識だけでは成り立たず、その人の経験や人間関係などの積み重ねの中で生まれるものだと思います。平均年齢が上がる一方の消費者協会の出番は、今の社会にこそあるのかもしれない。子どもや孫たちに伝えたいあなたの「年の功」は何ですか。ポストコロナを見据えて、皆で知恵を出し合いましょ。

審議委員会報告

審議委員会について

2021年9月27日の第2回本部会・理事会にて一部の支部に偏っていた新潟市の審議委員の委員を今後は5支部で担当すること、委員には関心のある人を優先的に選任し、報酬の一部を市協会に納めることを申し合わせました。その審議会内容などを抜粋して紹介します。(当協会HPにも掲載しています)

7月・第10回新潟市健幸づくり応援食品認定制度推進委員会

- ・新潟市農業振興地域整備審議会

8月・にいがた都市交通戦略推進会議

- ・新潟市環境影響評価審査会

東港に建設予定のバイオマス発電所に対する環境評価審査。現地視察。消費者として輸入バイオマス燃料の安全性や国内のCO2排出削減のために国外で排出することについて設置者の見解などが気になり質問し、答申に反映された。

- ・新潟市水道局経営審議会

新・マスタープラン令和2年度事業・取り組みの評価等3件を審議。委員からの指摘(抜粋)①学校施設水のみ水栓の直結給水率が進んでいない(市立学校176校中117校)②水道管老朽化、耐震化の設備率が工事費、人件費高騰で進んでいない③再生エネルギー利用推進。

アルザフォーラムで 食品ロスをテーマに

男女共同参画推進センター「アルザにいがた」主催の「アルザフォーラム2021」が11月21日に万代市民会館で開催され新潟支部が参加。食品ロス削減について和田会長が発表しました。(写真下)

本部会の話し合いで、このフォーラムは、次年度より市協会全体で取り組むことになりました。

